

2021年8月17日
損害保険ジャパン株式会社
SOMPOリスクマネジメント株式会社
Planck Resolution Ltd

A I 技術を活用した自動引受プラットフォーム開発に向けた プランク社との協業の開始

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）およびSOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：桜井 淳一、以下「SOMPOリスク」）は、イスラエルのスタートアップ企業である Planck Resolution Ltd（CEO: Elad Tsur、以下「プランク社」）と、最先端のA I 技術を活用した損保ジャパンの保険引受に必要なリスク分析ソリューションの共同開発・運用のための協業を2021年8月から開始します。

1. 背景・目的

自然災害の多発や激甚化、新型コロナウイルスの感染拡大等により、企業を取り巻くリスクは急速に変化・複雑化しています。このような環境のなか、自社の取り巻くリスクを正しく把握し、リスクに応じたきめ細やかな補償に対する企業のニーズが高まっています。

こうした背景を踏まえ、A I 技術を活用したお客さまのリスク情報の収集・分析を行うプラットフォームの導入と保険引受への活用に向けて、プランク社と協業することを合意しました。

2. 協業の概要

プランク社は、オンライン上に存在する様々なデータ（画像、テキスト、ビデオ、インターネット上でのユーザーコメントなど）を自動で収集・分析することにより個々の企業のリスク情報を推定するA I 技術の開発を行っており、本A I 技術を活用して自動的に保険の引受ができるプラットフォームを、米国およびドイツの大手保険会社向けに提供しています。

これまで、上記3社およびSOMPOホールディングス株式会社は、共同で日本市場での展開に向けた技術検証を行ってきました。このたび、日本における本A I 技術導入の目途が立ったため、損保ジャパンの中小企業のお客さま向けリスク分析ソリューション開発のために協業することを合意しました。

本協業を通じて、これまで困難であった中小企業のお客さまが抱えるリスクを詳細に分析するプラットフォームを構築します。これにより、中小企業のお客さまそれぞれのリスクに応じたきめ細やかな保険商品、リスクソリューションサービスのご提案や、シンプル・簡単に保険にご加入いただける仕組み等、従来にない圧倒的なお客さま体験と保険募集における効率化の実現を目指します。

3. プランク社の技術概要

プラットフォームは複数のA I 技術により構成されています。企業名・住所からリスク情報を推定するまでの一連のプロセスは下記の通りです。

①データ収集

データ収集A I は画像、テキスト、ビデオ、レビュー（口コミ）など、オンラインで入手可能なありとあらゆるデータ（フォーマット不問）を収集します。

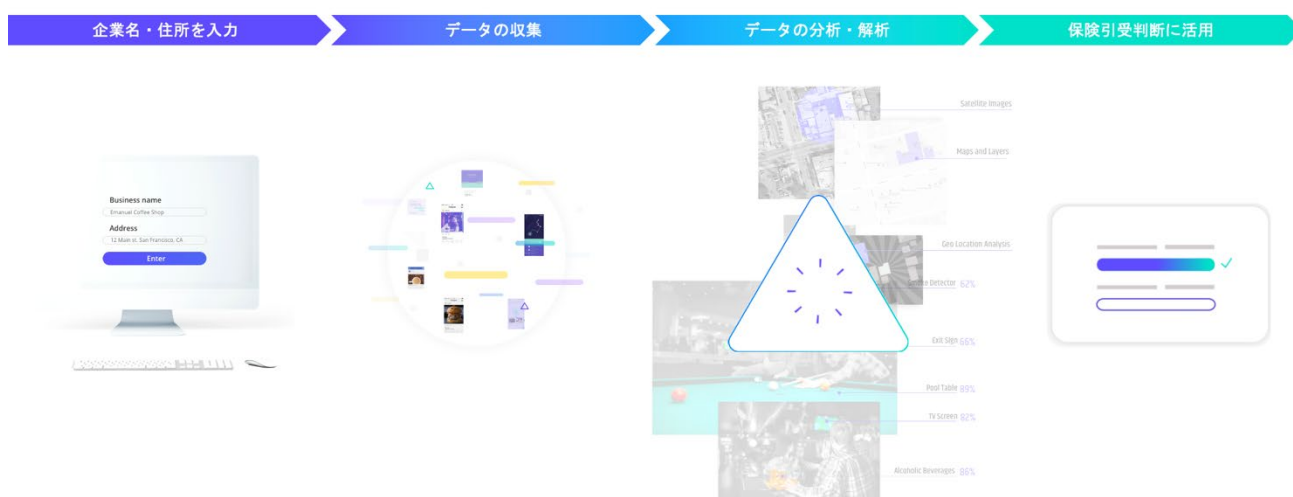
②データ分析

収集したデータを分析A I（画像解析A I、自然言語解析A I、地理空間情報解析A I など）により解析し、有益な情報を抽出します。

③保険引受に活用

抽出された情報を基に、リスク情報推定A I を用いて保険引受に必要な情報を高精度に推定（出力）します。

なお、プラットフォームはA P I 連携により損保ジャパンの様々なシステムと接続され、お客さまのリスク情報分析基盤として活用する予定です。



4. 今後について

損保ジャパンおよびSOMPOリスクは、常にお客さま目線で変わりゆくニーズに応え、プランク社の技術力も活かし、他に類を見ない新たなお客さま体験価値を創造・提供していくことを目指します。

【参考：プランク社について】

会社名 : Planck Resolution Ltd
CEO : Elad Tsur
所在地 : HaShaked 25 Zikhron Yaacov, Israel
設立年月日 : 2016年1月1日
事業の内容 : 保険引受のためのA I ベースのデータプラットフォームの提供

以上